

Android 版 VMware View Client の使用

2012 年 5 月
Android バン View Client

このドキュメントは新しいエディションに置き換わるまで、ここで書いてある各製品と後続のすべてのバージョンをサポートします。このドキュメントの最新版をチェックするには、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を参照してください。

JA-000667-03

vmware®

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<http://www.vmware.com/jp/support/pubs/>) にあります
VMware の Web サイトでは最新の製品アップデートも提供されています。

このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

Copyright © 2011, 2012 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。本製品は、米国著作権法および米国知的財産法ならびに国際著作権法および国際知的財産法により保護されています。VMware 製品には、<http://www.vmware.com/go/patents-jp> に列記されている 1 つ以上の特許が適用されます。

VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

ヴァイエムウェア株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

目次

1	Android 版 VMware View Client の使用	5
	Android 版 View Client のセットアップおよびインストール	5
	Android 版 View Client のシステム要件	6
	View Client 向けの View 接続サーバの準備	6
	サポートされている View デスクトップのオペレーティング システム	7
	Android 版 View Client のインストール/アップグレード	7
	サーバ接続とデスクトップの管理	8
	初回の View デスクトップへのログイン	8
	View Client の証明書チェック モード	9
	サーバの保存リストの管理	10
	View デスクトップからの切断	10
	デスクトップからのログオフ	11
	デスクトップのロールバック	11
	最近利用したデスクトップからのショートカットの削除	12
	モバイル デバイスでの Microsoft Windows デスクトップの使用	12
	機能サポート一覧	13
	入力デバイス、キーボード、およびキーボード設定	13
	動作およびナビゲーションのヘルプ	14
	マルチタスク用設定	16
	画面解像度と外部ディスプレイの使用	16
	国際化と国際化キーボード	16
	View Client のトラブルシューティング	17
	デスクトップのリセット	17
	VMware View アプリケーションのアンインストール	18
	プロキシ使用時の接続確立に関する問題	18
	インデックス	19

Android 版 VMware View Client の使用

このガイド『Android 版 VMware View Client の使用』では、データセンター内の View デスクトップに接続するために、Android デバイスに VMware View™ ソフトウェアをインストールする方法および使用方法について説明します。

このドキュメントには、Android 版 View Client のインストールのためのシステム要件と手順が記載されています。このドキュメントでは、Android デバイスでのユーザー エクスペリエンスを向上させるヒント、および Windows デスクトップの構成要素の使用に関するヒントについても説明します。

これらの情報は、Android クライアント デバイスを含む VMware View を設定して配置する必要のある管理者を対象としています。これらの情報は、仮想マシン テクノロジーおよびデータ センターの運用に精通している経験豊富なシステム管理者向けに記述されています。

- [Android 版 View Client のセットアップおよびインストール \(P. 5\)](#)

Android クライアントに View を設定して配置するには、特定の View 接続サーバの構成設定を使用すること、View server と Android デバイス クライアントのシステム要件を満たすこと、および VMware View アプリケーションをインストールすることが必要です。

- [Android 版 View Client のインストール/アップグレード \(P. 7\)](#)

Android 版 View Client は、Android アプリケーションです。他の Android アプリケーションと同じ方法でインストールします。

- [サーバ接続とデスクトップの管理 \(P. 8\)](#)

View Client を使用して View Connection Server またはセキュリティ サーバに接続し、接続サーバのリストを編集し、View デスクトップにログインするか View デスクトップからログオフします。トラブルシューティングする場合にも、割り当てられている View デスクトップをリセットし、チェックアウトしたデスクトップをロールバックできます。

- [モバイル デバイスでの Microsoft Windows デスクトップの使用 \(P. 12\)](#)

モバイル デバイスでは、ナビゲーションを援助するための機能が View Client に追加されています。

- [View Client のトラブルシューティング \(P. 17\)](#)

View Client に関するほとんどの問題は、デスクトップのリセットまたは VMware View アプリケーションの再インストールで解決することができます。

Android 版 View Client のセットアップおよびインストール

Android クライアントに View を設定して配置するには、特定の View 接続サーバの構成設定を使用すること、View server と Android デバイス クライアントのシステム要件を満たすこと、および VMware View アプリケーションをインストールすることが必要です。

- [Android 版 View Client のシステム要件 \(P. 6\)](#)

さまざまな Android デバイスに View Client をインストールすることができます。

- **View Client 向けの View 接続サーバの準備 (P. 6)**
エンド ユーザーが View デスクトップに接続できるようにするには、特定のタスクを管理者が実行する必要があります。
- **サポートされている View デスクトップのオペレーティング システム (P. 7)**
管理者は、ゲスト オペレーティング システムを使用して仮想マシンを作成し、そのゲスト オペレーティング システムに View Agent をインストールします。エンド ユーザーは、クライアント デバイスからこれらの仮想マシンにログインできます。

Android 版 View Client のシステム要件

さまざまな Android デバイスに View Client をインストールすることができます。

View Client をインストールする Android デバイスとその周辺機器は、一定のシステム要件を満たしている必要があります。

オペレーティング システム

- Android 版 View Client 1.2、1.3、および 1.4 : Android 3 (Honeycomb)。Cisco Cius デバイスでは Android 2.2 がサポートされています。
- Android 版 View Client 1.5 : Android 3 (Honeycomb) および Android 4 (Ice Cream Sandwich)。Cisco Cius デバイスでは Android 2.2 がサポートされています。

外部キーボード

(オプション) Bluetooth キーボード デバイスとドッキング キーボード デバイス。お使いのデバイスがサポートするデバイスの詳細については、デバイス製造元からのドキュメントを参照してください。

View 接続サーバ、セキュリティ サーバ、および View Agent

4.6.1 以降

VMware ではセキュリティ サーバの使用を推奨しています。これにより、お使いのデバイスでは VPN 接続が不要になります。

VMware View の表示プロトコル

PCoIP

View Client 向けの View 接続サーバの準備

エンド ユーザーが View デスクトップに接続できるようにするには、特定のタスクを管理者が実行する必要があります。

エンド ユーザーが View 接続サーバまたはセキュリティ サーバに接続して、View デスクトップにアクセスできるようにするには、プールの設定およびセキュリティの設定を構成する必要があります。

- セキュリティ サーバを使用している場合、VMware では、View 接続サーバ 4.6.1 以降および View セキュリティ サーバ 4.6.1 以降の使用を確認することを推奨しています。View 4.6 以降の『VMware View インストール ガイド』を参照してください。
- クライアント デバイスに安全な接続を使用する予定で、その安全な接続が View 接続サーバまたはセキュリティ サーバの DNS ホスト名を使用して構成される場合には、この DNS 名がクライアント デバイスによって解決できることを確認します。

安全なトンネルを有効または無効にするには、View Administrator で [View 接続サーバ設定の編集] ダイアログ ボックスに移動して、[デスクトップへの安全なトンネル接続を使用する] チェックボックスを使用します。

- 仮想デスクトップ プールが作成済みであること、および使用予定のユーザー アカウントにこの View デスクトップへのアクセス権が付与されていることを確認します。デスクトップ プールの作成については、『VMware View 管理ガイド』を参照してください。
- View Client で、RSA SecurID または RADIUS 認証などの 2 要素認証を使用するには、View 接続サーバでこの機能を有効にする必要があります。RADIUS 認証は、View 5.1 以降の View 接続サーバで使用できます。詳細については、『VMware View 管理者ガイド』で 2 要素認証に関するトピックを参照してください。

- エンドユーザーが View Client でパスワードを保存できるようにするには、View 接続サーバでこの機能のポリシーを設定します。これによりユーザーは View デスクトップにログインするたびに認証情報を入力する必要はなくなります。

この機能は、View 5.1 以降の View 接続サーバ経由で View デスクトップに接続している 1.5 以降の View Client で使用できます。ユーザーがパスワードを保存できるのは、保存を許可するポリシーが設定されており、View 接続サーバが提示するサーバ認証を View Client が完全に検証できる場合です。このポリシーの設定に関する手順については、『VMware View 管理者ガイド』の「ユーザー認証の設定」という章の「認証の保存をユーザーに許可する」というトピックを参照してください。

- デスクトッププールが PCoIP 表示プロトコルを使用するように設定されていることを確認します。『VMware View 管理ガイド』を参照してください。

サポートされている View デスクトップのオペレーティングシステム

管理者は、ゲストオペレーティングシステムを使用して仮想マシンを作成し、そのゲストオペレーティングシステムに View Agent をインストールします。エンドユーザーは、クライアントデバイスからこれらの仮想マシンにログインできます。

サポートされているゲストオペレーティングシステムの一覧については、VMware View 4.6.x または 5.x のインストールドキュメントの「View Agent でサポートされるオペレーティングシステム」を参照してください。

Android 版 View Client のインストール/アップグレード

Android 版 View Client は、Android アプリケーションです。他の Android アプリケーションと同じ方法でインストールします。

開始する前に

- デバイスをまだ設定していない場合は設定を行ってください。お使いのデバイスについては、製造元のユーザーガイドを参照してください。
- アプリケーションをインストールするには、デバイスの手順を理解してください。

デバイスの製造元が異なる場合、Android アプリケーションのインストール方法は異なります。お使いのデバイスについては、製造元のユーザーガイドを参照してください。デバイスによっては、アプリケーションをインストールする前に次のタスクを実行する必要がある場合があります。

- 特殊なドライバのインストール。
- ファイルブラウザのインストール。

手順

- 1 Google Play Store、Amazon Appstore for Android などの VMware View アプリケーションが入手可能な Web サイトから、VMware View アプリケーションをダウンロードします。
一部のデバイスでは、ファイルをデバイスにダウンロードします。他のタブレットでは、ファイルを PC または USB デバイスにダウンロードします。
- 2 必要に応じて、アプリケーション（.apk ファイル）をデバイスにコピーします。
- 3 デバイスでの通例の手順に従って、アプリケーションをインストールします。
たとえば、一部のデバイスでは、ファイルをタップしてインストールする必要があります。
- 4 インストールが成功したかどうかを確認するには、ホーム画面のデスクトップ上で [[VMware View]] デスクトップ上でアイコンを検証します。

サーバ接続とデスクトップの管理

View Client を使用して View Connection Server またはセキュリティ サーバに接続し、接続サーバーのリストを編集し、View デスクトップにログインするか View デスクトップからログオフします。トラブルシューティングする場合にも、割り当てられている View デスクトップをリセットし、チェックアウトしたデスクトップをロールバックできます。

管理者による View デスクトップのポリシーの構成方法によっては、エンドユーザーはデスクトップで多くの操作を実行できるようになります。

- [初回の View デスクトップへのログイン \(P. 8\)](#)
 エンドユーザーが仮想デスクトップにアクセスする前に、タブレットから仮想デスクトップにログインできることをテストします。ログインするには、View 接続サーバ用の URL を指定し、ユーザー アカウント情報を入力する必要があります。
- [View Client の証明書チェック モード \(P. 9\)](#)
 管理者は、またときにはエンドユーザーは、サーバの証明書チェックが失敗した場合にクライアント接続を拒否するかどうかを設定できます。
- [サーバの保存リストの管理 \(P. 10\)](#)
 View Connection Server インスタンスに接続すると、View Client ホーム画面上のリストにサーバディスクリプションまたは IP アドレスが保存されます。リストからサーバの削除またはディスクリプションの変更を行います。
- [View デスクトップからの切断 \(P. 10\)](#)
 ログオフせずに View デスクトップから切断し、アプリケーションを View デスクトップで開いたままにできます。
- [デスクトップからのログオフ \(P. 11\)](#)
 View デスクトップに接続していない場合、最初にログインしなくてもログオフできます。
- [デスクトップのロールバック \(P. 11\)](#)
 ロールバックは、Windows PC またはノートパソコン上のローカル モードでの使用のためにチェックアウトした仮想デスクトップに行った変更を廃棄することになります。
- [最近利用したデスクトップからのショートカットの削除 \(P. 12\)](#)
 View デスクトップにログインすると、最近使用したデスクトップのショートカットが View Client ホーム画面に保存されます。コンテキストメニューを使用してショートカットを削除します。

初回の View デスクトップへのログイン

エンドユーザーが仮想デスクトップにアクセスする前に、タブレットから仮想デスクトップにログインできることをテストします。ログインするには、View 接続サーバ用の URL を指定し、ユーザー アカウント情報を入力する必要があります。

開始する前に

- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報を取得します。
- ログイン用のドメイン名を取得します。
- 管理タスクの実行については以下で説明しています。 [[View Client 向けの View 接続サーバの準備 \(P. 6\)](#)]。
- 社内ネットワークの外部から接続し、仮想デスクトップへのアクセスにセキュリティ サーバを使用していない場合、使用しているクライアント デバイスが VPN 接続を使用していることを確認し、この接続をオンにします。

重要 VMware では、VPN よりもセキュリティ サーバの使用を推奨しています。

タブレットで使用できる社内無線ネットワークが設置されている場合、VMware View セキュリティ サーバまたは VPN 接続を設定する必要はありません。

- 仮想デスクトップへのアクセスを提供する サーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) を用意していることを確認してください。ポート番号が 443 ではない場合は、ポート番号も必要です。
- View 接続サーバから提示される SSL 証明書について、証明書確認モードを構成します。[\[View Client の証明書チェックモード \(P. 9\)\]](#) を参照してください。

手順

- 1 ホーム画面上で、**[VMware View]** アプリケーション アイコンをタップします。
- 2 **[サーバの追加]** ボタンをタップして、View 接続サーバまたはセキュリティ サーバの名前を入力し、**[接続]** をタップします。

View Client と View 接続サーバとの接続には常に SSL が使用されます。SSL 接続のデフォルトのポートは 443 です。View 接続サーバがデフォルトのポートを使用するように構成されていない場合は、この例の形式を使用します：**view.company.com:1443**。
- 3 RSA SecurID 認証情報または RADIUS 認証情報を入力するダイアログが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力し、**[完了]** をタップします。

パスワードには、PIN とトークンで生成された番号が含まれる場合があります。
- 4 再度、RSA SecurID 認証情報または RADIUS 認証情報を入力するダイアログが表示されたら、トークンで次に生成された番号を入力します。

お持ちの PIN および、過去に生成され、入力したものと同一番号は入力しないでください。必要に応じて、新しい番号が生成されるのを待ちます。

この手順は、最初のパスワードの入力をミスした、または RSA サーバの構成設定が変更された時のみ、必要になります。
- 5 ユーザー名とパスワードの入力を求められた場合、少なくとも 1 つのデスクトップ プールを使用する資格を付与されたユーザーの Active Directory 認証情報を入力し、ドメインを選択して **[完了]** をタップします。

管理者がこの機能を有効にしており、そしてサーバ証明書が十分に検証できる場合は、**[パスワードの保存]** チェック ボックスを選択することもできます。
- 6 表示される View デスクトップ リストで、接続するデスクトップをタップします。

デスクトップに初回にログインすると、View Client のホーム画面にデスクトップ用のショットカットが保存されます。次回、View デスクトップに接続する時は、サーバのホスト名を入力するかわりにショーカットをタップします。

View Client の証明書チェック モード

管理者は、またときにはエンド ユーザーは、サーバの証明書チェックが失敗した場合にクライアント接続を拒否するかどうかを設定できます。

証明書確認は、View 接続サーバと View Client 間の SSL 接続に対して実行されます。証明書検査では、次のような検査が行われます。

- 証明書の目的は、送信側の ID 検証やサーバ通信の暗号化以外にあるか。つまり、証明書のタイプは正しいか。
- 証明書は期限切れになっているか、また有効なのは未来のみか。つまり、証明書はコンピュータの時刻に応じて有効になっているか。
- 証明書上の共通名は、それを送信するサーバのホスト名と一致しているか。ロード バランサが View Client をあるサーバにリダイレクトする際に、証明書が View Client に入力したホスト名と一致しない場合、不一致が発生する可能性があります。クライアントにホスト名ではなく IP アドレスを入力した場合でも、不一致の原因となる可能性があります。

- 不明なまたは信頼されていない証明機関 (CA) によって署名された証明書か。自己署名された証明書は、信頼されていない CA の証明書タイプの 1 つです。

チェックをパスするには、証明書のトラスト チェーンが、デバイスのローカル証明書ストアでルートになっている必要があります。

重要 ユーザーが Android デバイスにインストールできる自己署名付ルート証明書を配布する手順、および Android デバイスに証明書をインストールする手順については、Google の Web サイトの『Android 3.0 ユーザーズガイド』などのドキュメントを参照してください。

セキュリティ モードを設定することができます。View Client のホーム画面に [[サーバの追加]] ボタンまたは View 接続サーバのリストが表示されている場合、画面の右上隅の [[設定]] アイコンをタップし、[[証明書確認モード]] アイコンをタップします。選択肢は次の 3 つです。

- [[信頼が確認されていないサーバには絶対に接続しない]]。証明書の確認に失敗した場合、クライアントはサーバに接続できなくなります。失敗したチェックは、エラー メッセージに一覧表示されます。
- [[信頼されていないサーバに接続する前に警告する]]。サーバが自己署名証明書を使用していることが原因で、証明書の確認に失敗した場合、[[続行]] をクリックして警告を無視することができます。自己署名証明書の場合、証明書名は View Client に入力した View 接続サーバ名と一致する必要はありません。
- [[サーバ ID 証明書を検証しない]]。この設定は、証明書チェックは View によって一切実行されないことを意味します。

証明書確認モードが [[警告]] に設定されている場合でも、自己署名証明書を使用する View 接続サーバインスタンスに接続することができます。

後で管理者が信頼される証明機関からのセキュリティ証明書をインストールし、接続時のすべての証明書チェックにパスするようになると、この信頼された接続はその特定のサーバに対して記録されます。その後、このサーバが自己署名証明書を再び提示すると、接続は失敗します。特定のサーバが完全に検証可能な証明書を提示した後は、必ずその処理が行われます。

サーバの保存リストの管理

View Connection Server インスタンスに接続すると、View Client ホーム画面上のリストにサーバディスクリプションまたは IP アドレスが保存されます。リストからサーバの削除またはディスクリプションの変更を行います。

View Client で、サーバ名または IP アドレスを入力して、[接続] をタップすると、リストにサーバ名または IP アドレスが保存されます。サーバ名を間違えたり、間違った IP アドレスを入力した場合でも、この情報は保存されます。リストを編集して、サーバ名またはディスクリプションを削除あるいは変更することができます。ディスクリプションを入力していない場合は、サーバ名または IP アドレスがデフォルト ディスクリプションになります。

手順

- 1 View Client ホーム画面で、画面右上の [メニュー] アイコンをタップします。
- 2 表示されるダイアログ ボックス内で、コンテキストメニューが表示されるまでサーバ名をタップ・ホールドします。
- 3 メニューを使用して、サーバ名またはディスクリプションを削除あるいは変更します。

View デスクトップからの切断

ログオフせずに View デスクトップから切断し、アプリケーションを View デスクトップで開いたままにできます。

View デスクトップ オペレーティング システムにログインするときに、View Client のツールバーの右上隅にある [メニュー] ボタンをタップし、[切断] を選択して、切断できます。

注意 View 管理者は、切断された時点で自動的にログオフするようにデスクトップを設定できます。その場合、デスクトップで開いているプログラムは停止します。

デスクトップからのログオフ

View デスクトップに接続していない場合、最初にログインしなくてもログオフできます。

View デスクトップに現在接続しログインしている場合は、Windows の [[スタート]] メニューを使用してログオフします。Windows からログオフした後は、デスクトップは切断され、View Client は閉じます。

ログオフせずに View デスクトップから切断すると、アプリケーションは View デスクトップで開いたままになります。

開始する前に

- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報を取得します。
- デスクトップでファイルを開いている場合は、それらを保存して閉じます。
- [最近使用したデスクトップ] ショートカットを使用してデスクトップからログオフするには、デバイスから少なくとも 1 回は View デスクトップにログインしている必要があります。

少なくとも 1 回ログインしていない場合は、次の手順を理解してください [「初回の View デスクトップへのログイン \(P. 8\)」](#)。

手順

- 1 View Client ホーム画面上で、View デスクトップのコンテキスト メニューを表示します。

オプション	操作
[最近使用したデスクトップ] ショートカットの使用	最近使用したデスクトップのショートカットをタップして押したままにします。
サーバーリストの使用	<ol style="list-style-type: none"> a 画面の右上隅にある [[メニュー]] アイコンをタップし、サーバー名をタップします。 b 入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。 c デスクトップ名をタップして押したままにします。

- 2 コンテキスト メニューから [[ログオフ]] を選択します。
- 3 [最近使用したデスクトップ] エリアからデスクトップにアクセスした場合、入力を求めるダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。

デスクトップのロールバック

ロールバックは、Windows PC またはノートパソコン上のローカル モードでの使用のためにチェックアウトした仮想デスクトップに行った変更を廃棄することになります。

View administrator がこの機能を利用でき、デスクトップがチェックアウトされている場合のみ、View デスクトップをロールバックできます。



注意 ローカル モードのデスクトップが変更され、ロールバック前に変更が View server にレプリケートされない場合は、変更は失われます。

開始する前に

- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報を取得します。
- データまたはファイルを保存するために、デスクトップをサーバーにバックアップします。

View Administrator を使ってデータをサーバーにレプリケートするか、ポリシーが許可する設定の場合、デスクトップが現在チェックアウトされている Windows クライアントのローカル モードで View Client を使用できます。

- **【最近使用したデスクトップ】** ショートカットを使用してデスクトップをロールバックするには、デバイスから少なくとも 1 回は View デスクトップにログインしている必要があります。

少なくとも 1 回ログインしていない場合は、次の手順を理解してください **【初回の View デスクトップへのログイン (P.8)】**。

手順

- 1 View Client ホーム画面上で、View デスクトップのコンテキスト メニューを表示します。

オプション	操作
【最近使用したデスクトップ】ショートカットの使用	最近使用したデスクトップのショートカットをタップして押したままにします。
サーバリストの使用	a 画面の右上隅にある 【メニュー】 アイコンをタップし、サーバ名をタップします。 b 入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。 c デスクトップ名をタップして押したままにします。

- 2 コンテキスト メニューから **【ロールバック】** を選択します。
- 3 **【最近使用したデスクトップ】** エリアからデスクトップにアクセスした場合、入力を求めるダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスコード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。

View デスクトップをロールバックした後、デバイスからログインすることができます。

最近利用したデスクトップからのショートカットの削除

View デスクトップにログインすると、最近使用したデスクトップのショートカットが View Client ホーム画面に保存されます。コンテキスト メニューを使用してショートカットを削除します。

手順

- 1 View Client ホーム画面の **【最近使用したデスクトップ】** エリア内で、View デスクトップのショートカットをタップして押したままにします。
- 2 コンテキスト メニューから **【ショートカットの削除】** を選択します。

モバイル デバイスでの Microsoft Windows デスクトップの使用

モバイル デバイスでは、ナビゲーションを援助するための機能が View Client に追加されています。

- **機能サポート一覧 (P. 13)**

Android 版 View Client では、Windows 版 View Client のデスクトップやノート PC など、その他のクライアントで使用可能な機能の一部がサポートされています。

- **入力デバイス、キーボード、およびキーボード設定 (P. 13)**

Android 版 View Client は、Bluetooth キーボード デバイスとドッキング キーボード デバイスおよび多くの言語に対応するキーボードをサポートします。大文字自動変換およびテキスト修正などの環境設定を行うこともできます。

- **動作およびナビゲーションのヘルプ (P. 14)**

VMware は、Windows 以外のデバイス上で、従来の Windows ユーザー インターフェイス要素をナビゲートするためのユーザーとの対話補助を開発しました。

- **マルチタスク用設定 (P. 16)**

View Client がバックグラウンドで稼働する時間を設定することができます。

- **画面解像度と外部ディスプレイの使用** (P. 16)

デバイスを外部ディスプレイまたはプロジェクタに接続する場合、View Client は一定の最大画面解像度に対応しています。また、デバイスで使用する画面解像度を変更すれば、より大きな画面解像度のスクロールも可能になります。

- **国際化と国際化キーボード** (P. 16)

Android 版 View Client では、英語、日本語、フランス語、ドイツ語、簡体中国語、および韓国語でのユーザーインターフェースとドキュメントが利用可能です。これらの言語や他の言語の文字を入力することも可能です。

機能サポート一覧

Android 版 View Client では、Windows 版 View Client のデスクトップやノート PC など、その他のクライアントで使用可能な機能の一部がサポートされています。

表 1-1. Android View クライアント用 Windows デスクトップでサポートされる機能

機能	Windows 7 の View デスクトップ	Windows XP の View デスクトップ
RSA SecurID または RADIUS	○	○
シングル サインオン	○	○
RDP 表示プロトコル		
PCoIP 表示プロトコル	○	○
USB アクセス		
Wyse MMR		
仮想印刷		
ロケーション ベースの印刷	○	○
スマート カード		
複数のモニタ		
ローカル モード		

上記の機能の詳細および制限事項については、『VMware View アーキテクチャ プランニング ガイド』を参照してください。

入力デバイス、キーボード、およびキーボード設定

Android 版 View Client は、Bluetooth キーボード デバイスとドッキング キーボード デバイスおよび多くの言語に対応するキーボードをサポートします。大文字自動変換およびテキスト修正などの環境設定を行うこともできます。

外部キーボードおよび入力デバイス

タブレットがサポートするデバイスの情報は、タブレット メーカーのドキュメントを参照してください。

Cisco Cius タブレットの場合、USB キーボードと USB マウスを使用できます。

外部キーボードは View Client により自動的に認識される場合があります。いくつかの外部キーボードでは、タブレット画面を同時に 3 本の指でタップするか、View Client ツールバー上の [キーボード] ボタンをタップする必要があります。

注意 Kindle Fire タブレットでは、3 本の指でタップしても、オンスクリーン キーボードは表示されません。代わりに、View Client ツールバーの [キーボード] アイコンを使用して、オンスクリーン キーボードを表示します。

外部キーボードを検出後は、View Client ツールバーまたは 3 指タップを利用して、オンスクリーン キーボードを表示させることはできなくなります。最初に Eject キーを押して外部キーボードを無効にする必要があります。

国際化キーボード

正しい入力方式をインストールして、次の言語の文字を入力できます：英語、日本語、フランス語、ドイツ語、簡体中国語、および韓国語など。

キーボードや音声の言語を選択するには、オンスクリーンキーボードのキーボード設定キーをタップします。キーボード設定キーは、オンスクリーンキーボードの一番下の行の左端にあるキーです。設定を選択したら、Android の戻るボタンをタップして、ダイアログボックスを終了します。

動作およびナビゲーションのヘルプ

VMware は、Windows 以外のデバイス上で、従来の Windows ユーザー インターフェイス要素をナビゲートするためのユーザーとの対話補助を開発しました。

View Client ツールバー

ツールバーには、オンスクリーンキーボード、仮想タッチパッド、設定オプション、そして仮想キーボード用の矢印キー、Page Up キー、Page Down キーをタップして表示させるボタンがあります。

Android 版 View Client 1.3 以降では、このツールバーは画面上部のアクションバーの右側に表示されます。

Android 版 View Client 1.2 では、画面下部のステータスバーのグリッドアイコンをタップして、このツールバーを表示できます。

オンスクリーンキーボード

View デスクトップ内のオンスクリーンキーボードには、標準オンスクリーンキーボードよりも多くのキーがあります。例えば、Control キーや Function キーが利用可能です。オンスクリーンキーボードを表示するには、[[View Client]] ツールバー上の [[キーボード]] ボタンをタップするか、または画面を同時に 3 本の指でタップします。

重要 また、View 5.1 デスクトップで 1.5 以降の View Client を使用している場合、メモ帳や新しい連絡先などでのテキストフィールドをタップすると、いつでもオンスクリーンキーボードを表示する機能を有効にすることができます。

この機能をオンまたはオフにするには、View Client ツールバーを使用して [設定] ダイアログボックスを表示し、[[自動キーボードを有効にする]] オプションをクリックして [[オン]] または [[オフ]] に切り替えます。

注意 Kindle Fire タブレットでは、3 本の指でタップしても、オンスクリーンキーボードは表示されません。代わりに、View Client ツールバーの [キーボード] アイコンを使用して、オンスクリーンキーボードを表示します。

外部キーボードを使用している場合、1 行オンスクリーンキーボードが表示され、Ctrl キー、Alt キー、Windows キー、矢印キーを含んでいます。外部キーボードによっては、これらのすべてのキーが揃っていない場合があります。

文字列の送信

オンスクリーンキーボードで、Ctrl キー左横のペンアイコンをタップして、ローカル入力バーを表示させます。テキストボックスに入力した文字列は、[送信] をタップするまでアプリケーションに送信されません。例えば、Notepad などのアプリケーションを開き、ペンアイコンをタップした場合、入力した文字列は [送信] をタップするまで Notepad アプリケーション内に表示されません。

ネットワーク接続が低速の場合、この機能を使用します。つまり、文字を入力しても、アプリケーション内に直ちに表示されません。この機能を使って、最大 1,000 文字を入力し、[送信] または [戻る] をタップして、アプリケーション内に 1,000 文字すべてを同時に表示させることができます。

バージョン 1.4 以前の View Client を使用している場合、マルチステージ IME サポートが必要な韓国語などの言語を入力するには、この機能を使用します。バージョン 1.5 以降の View Client では、韓国語の入力にはこの機能を使用する必要はありません。

ナビゲーション キー

View Client ツールバーまたはオンスクリーン キーボード上の [Ctrl/ページ] アイコンをタップして、ナビゲーション キーを表示させます。これらのキーには、Page Up キー、Page Down キー、矢印キー、Function キーおよび Windows 環境でよく使用する Alt キー、Del キー、Shift キー、Ctrl キー、Windows キー、Esc キーを含んでいます。矢印キーを押し続け、連続して動かすことができます。

Ctrl+Shift など Shift キーを含むキーの組合せを使用する必要がある場合、このキーパッドの Shift キーを使用します。Ctrl+Alt+Delete などこれらのキーの組合せをタップするには、最初にオンスクリーンの Ctrl キーをタップします。Ctrl キーが青色に変わってから、オンスクリーンの Alt キーをタップします。Alt キーが青色に変わってから、オンスクリーンの Del キーをタップします。

オンスクリーン タッチパッド

仮想タッチパッドは、ノートパソコンのタッチパッドに似ています。

- オンスクリーン タッチパッドをシングルクリック用およびダブルクリック用に利用できます。
- タッチパッドには、左クリックボタンと右クリックボタンもあります。
- タッチパッドの周りで指を動かして、マウスポインタを作成し、View デスクトップの周りを移動させます。
- 2本の指でタップし、ドラッグして垂直方向にスクロールします。

仮想タッチパッドをデバイスの端にドラッグすれば、デバイスを手に持ちながら親指でタッチパッドの操作を行うことができます。

タッチパッドの使用時にポインタの動く速さを調整するには、[View Client] ツールバーを使用して [設定] ダイアログボックスを表示し、[[タッチパッド感度]] オプション内のスライダをドラッグします。

クリック

他のアプリケーションと同様に、ユーザー インターフェイスのエLEMENTにタップしてクリックします。

右クリック

次のオプションが右クリック用に利用可能です。

- View Client ツールバーを使用して、タッチパッドを表示させ、タッチパッドの右クリック ボタンを使用します。
- 2本の指でほぼ同時にタップします。右クリックが最初の指のタップで発生します。
- リリース 1.5 以降の Android 版 View Client では、一部のタブレットで USB マウスや Bluetooth マウスなどの外付けマウスを使用して右クリックすることができます。

スクロールおよびスクロールバー

垂直方向のスクロールにはいくつかのオプションが利用可能です。

- 画面上で、2本指でタップし、ドラッグしてスクロールさせます。指の下のテキストが指の動きを同じ方向に移動します。
- View Client ツールバーを使用して、タッチパッドを表示させ、タッチパッドを2本指でタップして、ドラッグし、スクロールさせます。
- オンスクリーン タッチパッドを使用して、マウス ポインターを移動させ、スクロールバーをクリックします。

ズームインおよびズームアウト

他のアプリケーションと同様に、指を合わせたり広げたりすることでズームを行います。

画面のリサイズ

仮想タッチパッドを使用して、左クリック ボタンを押して、画面のコーナーまたは横までドラッグする間ホールドします。

音声、音楽、そしてビデオ

デバイスで音声が入っている場合、View デスクトップでオーディオを再生することができます。

マルチタスク用設定

View Client がバックグラウンドで稼働する時間を設定することができます。

WiFi ネットワーク内でのデフォルトでは、View Client はバックグラウンドで無期限に稼働します。3G ネットワーク内では、デフォルトで、不要な支出を避けるため、デスクトップへの接続は他のアプリケーションに切り替えると直ちに停止します。

ただし、View Client をバックグラウンドで無期限に稼働させるかどうかを設定することができます。View Client ツールバー内で、[[設定]] をタップして、[[アプリケーション切替時に切断]] をタップし、選択または選択を解除します。

アプリケーションがバックグラウンドで稼働しており、View デスクトップへの接続が存在しているときは、View Client アイコンがステータス バー内に表示されます。View Client に切り替えて戻すには、ステータス バー内のアイコンをタップします。

Android デバイス アプリケーションと View デスクトップ間または 2 つの View デスクトップ間で、プレーン テキストをコピーおよびペーストすることができます。フォーマット情報はコピーされません。

- View デスクトップにログインしたときに、Android デバイスのクリップボードにコピーしたテキストが View デスクトップのクリップボードに自動的にコピーされます。
- View デスクトップにログインしている場合、ホーム ボタンを押すか、またはバックグラウンドに切り替えたときに、View デスクトップのクリップボードにコピーしたテキストが Android デバイスのクリップボードにコピーされます。

画面解像度と外部ディスプレイの使用

デバイスを外部ディスプレイまたはプロジェクトに接続する場合、View Client は一定の最大画面解像度に対応しています。また、デバイスで使用する画面解像度を変更すれば、より大きな画面解像度のスクロールも可能になります。

View デスクトップの画面解像度の拡張

デフォルトでは、Windows デスクトップ全体がデバイス内に収まるように、ディスプレイの解像度が設定されています。ただし、デスクトップがデバイスよりも大きくなるように、デフォルトを変更することができます。より高い解像度を使用する場合、デスクトップの端にアクセスするにはタップしてドラッグする必要があります。

ディスプレイの解像度設定の変更

[設定] ダイアログ ボックスで [[ディスプレイの解像度]] 設定を使用すれば、ディスプレイの解像度をより大きな値に設定することができます。[View Client] ツールバーの右上隅にある [[メニュー]] アイコンをタップし、[[設定]] をタップします。

プロジェクト使用時の画面解像度

プロジェクトにより高い解像度を設定するには、[[ディスプレイの解像度]] 設定を使用します。

国際化と国際化キーボード

Android 版 View Client では、英語、日本語、フランス語、ドイツ語、簡体中国語、および韓国語でのユーザーインターフェイスとドキュメントが利用可能です。これらの言語や他の言語の文字を入力することも可能です。

キーボードまたは音声の言語を選択するには、オンスクリーン キーボードでキーボード設定キーをタップします。キーボード設定キーは、オンスクリーン キーボードの最下行の左端にあるキーです。

View Client のトラブルシューティング

View Client に関するほとんどの問題は、デスクトップのリセットまたは VMware View アプリケーションの再インストールで解決することができます。

問題

VMware View アプリケーションが起動しない、繰り返し予期せず終了する、または、View デスクトップがフリーズします。

原因

VMware View サーバが適切に設定され、サーバの周りのファイアウォールが正しくポートを開いていると仮定した場合、他の問題は通常タブレット上の VMware View アプリケーションまたは View デスクトップ上のゲストオペレーティングシステムに関連します。

解決方法

- View デスクトップ内のオペレーティングシステムがフリーズした場合、タブレット上の View Client を使用してデスクトップをリセットします。
このオプションは、管理者がこの機能を有効にした場合にのみ利用可能です。
- タブレット上の VMware View アプリケーションをアンインストールして、再インストールします。
- View デスクトップのリセットおよび VMware View アプリケーションの再インストールで問題が解決しない場合、Android タブレットのユーザーガイド記載の方法で Android タブレットをリセットします。
- サーバに接続する際、接続エラーが発生する場合は、プロキシ設定を変更する必要がある可能性があります。

デスクトップのリセット

リセット操作を実行すると、デスクトップがシャットダウンおよび再起動されます。保存されていないデータは失われます。

デスクトップ オペレーティングシステムが応答しなくなった場合、デスクトップのリセットが必要な場合があります。

View デスクトップをリセットする操作は、物理的な PC を強制的に再起動するためにその PC のリセット ボタンを押す操作に相当します。View デスクトップで開いているすべてのファイルが、保存されずに閉じられることになります。

デスクトップをリセットできるのは、View 管理者がこの機能を有効にしている場合のみです。

開始する前に

- Active Directory ユーザー名とパスワード、RSA SecurID ユーザー名とパスコード、RADIUS 認証ユーザー名とパスコードなどのログインに必要な認証情報を取得します。
- [最近使用したデスクトップ] ショートカットを使用してデスクトップをリセットするには、デバイスから少なくとも 1 回は View デスクトップにログインしている必要があります。

少なくとも 1 回ログインしていない場合は、次の手順を理解してください [「初回の View デスクトップへのログイン \(P.8\)」](#)。

手順

- 1 View Client ホーム画面上で、View デスクトップのコンテキスト メニューを表示します。

オプション	操作
【最近使用したデスクトップ】ショートカットの使用	最近使用したデスクトップのショートカットをタップして押したままにします。
サーバリストの使用	<ol style="list-style-type: none"> a 画面の右上隅にある [[メニュー]] アイコンをタップし、サーバ名をタップします。 b 入力のダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスワード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。 c デスクトップ名をタップして押したままにします。

- 2 コンテキスト メニューから [[リセット]] を選択します。
- 3 [最近使用したデスクトップ] エリアからデスクトップにアクセスした場合、入力を求めるダイアログが表示されたら、RSA のユーザー名とパスワード、Active Directory のユーザー名とパスワードのいずれかまたは両方を入力します。

VMware View アプリケーションのアンインストール

VMware View アプリケーションをアンインストールし、再インストールすることで、View Client の問題を解決できる場合があります。

Android アプリケーションでの手順とまったく同じように、View Client をアンインストールします。

手順

- 1 デバイス上で、[[アプリケーション]] に移動し、[[VMware View]] アプリケーションをブラウズします。
- 2 [[アンインストール]] アイコンがデバイスの右上隅に表示されるまで、[[VMware View]] アイコンをタップして押したままにします。
- 3 [[VMware View]] アイコンを [[アンインストール]] ごみ箱アイコンにドラッグします。
または、[[アプリケーション]] - [[設定]] に移動し、[[アプリケーション]] - [[アプリケーション管理]] を選択すれば、View Client をアンインストールすることができます。

次に進む前に

View Client を再インストールします。

[「Android 版 View Client のインストール/アップグレード \(P. 7\)」](#) を参照してください。

プロキシ使用時の接続確立に関する問題

時々、LAN 上でプロキシを使って View Connection Server に接続する際、エラーが発生することがあります。

問題

View 環境が View デスクトップから View Connection Server へセキュア接続を使用するようセットアップされ、タブレットが HTTP プロキシを使用するように設定されている場合、接続できない場合があります。

原因

Windows Internet Explorer とは異なり、タブレットには、ローカルアドレスに対するプロキシをバイパスするインターネット オプションがありません。HTTP プロキシが外部アドレスの表示に使われている場合、内部アドレスを使用して View Connection Server に接続しようとすると、**接続を確立できません**というエラーメッセージが表示される場合があります。

解決方法

- ◆ プロキシ設定を削除して、タブレットがプロキシを使わないようにします。

インデックス

A

- Android、View Client のインストール 6
- Android View Client、アンインストール 18
- Android 用入力デバイス 13
- Android バン View Client
 - アンインストール 18
 - インストール 7

G

- Google Play Store 7, 18

V

- View Agent、インストール要件 7
- View Client
 - Android デバイスのシステム要件 6
 - Android デバイスの設定 5
 - タブレットカラノログイン 8
 - デスクトップから切断 10
 - トラブルシューティング 17
- View 接続サーバ 6
- View デスクトップ 12
- View デスクトップからの切断 10

W

- Windows デスクトップ 12

お

- オプション、構成 14
- オペレーティングシステム、View Agent でサポートされている 7

か

- 解像度、画面 16
- 外部ディスプレイ 16
- 画面解像度 16
- ガメンノリサイズ 14

き

- キー、ナビゲーション 14
- keyboard
 - オンスクリーン 14
 - ナビゲーションキー 14
- キーボードサポート 13, 16
- 機能サポート マトリックス 13

く

- クライアント デバイスの前提条件 6

こ

- 国際化 16

さ

- サーバ接続 8, 10
- 最近使用したデスクトップのショートカット 12

し

- システム要件、Android デバイス 6
- 証明書、問題の無視 9
- ショートカット、最近使用したデスクトップ 12

す

- スクロール 14

せ

- セキュリティ サーバ、PCoIP セツゾク 8
- 接続の問題 18
- 切断 11

た

- タッチパッド、カソウ 14
- タブレットドウサ 14

つ

- ツールバー、View Client 14

て

- ディスプレイ、外部 16
- ディスプレイ要件 16
- desktop
 - ロールバック 11
 - ログオフ 11
- デスクトップ、リセット 17
- デスクトップのリセット 17
- デスクトップのロールバック 11

と

- トラブルシューティング 17
- トラブルシューティング、接続の問題 18

な

- ナビゲーションキー 14

は

- ハードウェア要件、Android デバイス 6
- バックグラウンドデノジッコウ 16

バックグラウンドマルチタスク 16

ふ

プロキシ接続 18

プロジェクタ 16

ま

マルチタスク 16

ろ

ログイン

 ログイン 8

 デスクトップ 8

ログオフ 11